



©中央共同基金

# 社協だより

# 43号

平成25年5月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで

寺の名が彫られている石碑に手をあわせます。  
「やわたはま」の頃、お四国山で縁日があり、懐かしく感じます。



## 総勢150名で挑んだ お四国山めぐりと健康づくり

平成25年3月22日(金)「お四国山歩け歩け大会」を開催しました。(八幡浜市社協主催)高齢者の健康管理に重点をおき、ウォーキングをサロンで取り入れようと企画しました。サロン100名、八幡浜工業高校11名、川之石高校14名、各高校の教諭4名、八幡浜市ボランティア協議会・傾聴ボランティアゆうの会・民生児童委員・見守り推進員・保健センター等約50名が、頂上を目指しました。サロン参加者の平均年齢は71歳でした。

八十八か所の内、約半分を廻りました。世間話に花が咲く人、高校生とお話する人、休憩をとる人。午前11時には、みなさんが弘法大師様のおられる頂上に到着しました。

お四国山は四国霊場を模した簡易巡拝霊場です。八水蒲鉾株式会社「八幡浜の話題 お四国山縁起」には以下のように記載されています。(抜粋)

八幡浜市に大地震、大洪水がおり、数か年にわたって悪病が流行し、人々の心は穏やかでない時代がありました。1865年(元治2年)四国満願成就の開眼供養が行われるようになり、これが四国霊場の起こりとされています。お四国山は、千丈川と五反田川の合流地点から南へ約1kmのところ、標高135m、1週約3kmの山です。五反田川沿いに3分ほど歩くと、霊場登山口の石碑があります。愛染堂から萬松寺までの参道には春の桜、5月のつつじ、夏のは萩、秋の紅葉等、四季を通して自然発生の山です。頂上にたたずめば市内を眼下に見おろせ、八幡浜湾を一望におさめる名所とされています。

式会社「八幡浜の話題 お四国



# 若い人「足がガクガク」 高齢者「まだまだ歩けるよ」



咲きはじめ、歓迎してくれました。

八幡浜市民生児童委員会 田中定彦さんより、力強い励ましの言葉をいただきました。弘法大師様のもと

で、お弁当を食べました。「ふだんはあんまり食べないけど。運動してみんながいたら、お弁当もペロリよ」  
(70代女性)

歩きながら、いろいろな交流とお話がありました。危険箇所をさりげなく声をかけ手を差し伸べる高校生、高校生にお四国山の歴史を伝える男性、弘法大師様の像となる石を運んだ経験のある男性、おてんばに歩く女性、子どもの頃にお四国山を登ったことを話す女性、お孫さんの話で盛り上がる女性と男性。

みなさん、無事に頂上に到着しました。頂上では、桜の花もきれいに

12時、下山を開始しました。「足がガクガクしてきた」という若人がいる一方、「まだまだ八十八か所を廻れるよ」と姿勢のよい高齢者がおられました。

13時下山を終え、

愛染堂前の広場に集まりました。八



幡浜市ボランティア協議会 木村謙児さんより、無事下山できたこと、ステキな交流があったこと、これからもみなさんが元気であることをお話していただきました。

誰一人ケガをすることなく、笑顔で「お四国山歩け歩け大会」を終えることができました。参加してくれ

## 「おいこ」の意外な効果

コンテナを積んでいるのが「おいこ」

お四国山頂上に、お弁当を運ぶため、下山の荷物を運ぶため、「おいこ」を持参しました。八幡浜市社協訪問入浴の八木 徹さんから「おいこがあれば、絶対役立つから」と勧められました。その助言は確かでした。高齢者からは「懐かしい」「小さい頃かついだ」「昔はこんなに便利なおいこじゃなかった」と話が盛り上がりました。過去、使われた道具は現代の私たちに、時を超えて語りかけるものがあります。



た方、お手伝いしてくれた高校生、ボランティアのみなさん、お疲れ様でした。ありがとうございました。



# 「お四国山歩け歩け大会」開催までは 長く・楽しい道のりでした



片倉さんご夫婦（右）と社協職員

「お四国山歩け歩け大会」本番ま  
では、多くの方々の協力がありま  
した。  
平成24年4月7日（土）地元の民  
生児童委員である片倉正敏さんのご  
案内のもと、社協職員がお四国山の  
下見を行いました。かつて、相撲の  
土俵があったことを伺いました。八  
十八か所すべてを廻り道が大変険し  
いこと、バイオトイレの確認をしま  
した。



しっかり介助する高校生

平成25年3月14日（木）危険箇所  
の確認を行いました。八幡浜工業高  
校の祖母井 豊君、寺田勝太君、加  
藤雄大君、脇本 幸君の4名（当時、  
高校1年生）に協力をいただきました。  
彼らは、高齢者の気持ちや身体  
機能を考え、すべりやすい箇所、崖  
になっている箇所、分かれ道等に赤  
い旗を合計23本立ててくれました。  
大会当日は、この赤い旗のお蔭で、



草刈り終了後の満面の笑み

誰一人危険な目にあわずにすみまし  
た。下山するときは、元気よく、赤  
い旗すべてを持ち帰ってくれました。  
平成25年3月20日（水）八幡浜市  
ボランティア協議会会長 木村謙児  
さん等で草刈りを行いました。草が  
伸び放題で、座ってお弁当を食べづ  
らい状況でしたがきれいになりました。  
草刈り機に慣れていない社協職  
員も何とか使いこなせました。  
大会前日には、松蔭地区婦人会さ  
んに公民館の掃除や準備のお手伝い  
をいただきました。  
ありがとうございました。

## 第26回 福祉のつどい開催決定

【スローガン】

進めよう住民主体の

「福祉のまちづくり」

強めよう支え合い（共助）の

ネットワーク

【サブテーマ】

「笑顔」「恵顔」「愛顔」を

みつめ、「えがお」でつなぐ

支え愛の輪

【日時】

平成25年6月9日（日）

午前10時～午後3時

【場所】

新町ドームおよび周辺

【内容】

福祉団体による催しやおい

しいお店が出店します。毎年

恒例のおいしい「おもちまき」

もあります。

【お問い合わせ】

第26回福祉のつどい実行委員

会事務局（36-0262）





# 平成25年度 八幡浜市社会福祉協議会の事業計画

## I. 基本方針（抜粋）

八幡浜市においては、人口減少、少子・高齢化は確実に進行し、集落維持機能の低下、人間関係の希薄化や相互扶助の弱体化、経済機能の低下など環境は厳しく多様な問題を抱えています。これらを解決するためには、公的施策はもとより、身近な地域の住民の皆さんや住民組織、関係団体等が相互に助け合い、支え合うしくみづくりが必要です。

本会は小地域福祉活動を基盤として、専門性やネットワークを活かし、「すこやかな心ふれあう思いやりのあるまちづくり」を理念として、地域福祉の推進に取り組んでいきます。また、要介護者等の方々ができる限り住み慣れた地域で生活の継続を目指す地域包括ケアシステムの構築に向け、より質の高い福祉・介護サービスの提供に努めて参ります。

## II. 重点目標と事業実施項目

### A. 法人経営の基盤整備の推進

1. 経営体制整備と基盤強化
  - (一) 理事会・評議員会の開催
  - (二) 地区社協会長会議及び各種研修会
  - (三) 地区社協の組織の充実と活動支援
  - (四) 社協の情報活動の促進
  - (五) 自主財源の確保と適正な運営
  - (六) 財務の適性化と事務の合理化

- (七) 職員の研修・資質向上

### B. 地域福祉活動の推進

1. 地域福祉活動の推進・強化
  - (一) 小地域ネットワーク活動の推進
  - (二) 「八幡浜市地域福祉基金」の活用による福祉活動の推進
  - (三) 住民座談会の開催による社協の啓発活動
  - (四) 高齢者等福祉対策の推進
  - (五) 地域福祉活動計画の中間評価・見直し
2. ボランティア活動の推進
  - (一) ボランティアセンターの運営強化
  - (二) ボランティアコーディネーター機能の強化
  - (三) ボランティア協議会の活動支援
  - (四) 各種ボランティア養成講座
  - (五) 防災・災害ボランティアの研修
  - (六) ボランティアグループへの情報提供・支援・育成
  - (七) ボランティア登録とボランティア保険への加入促進
  - (八) ヤングボランティアの育成・啓発

### C. 権利擁護の推進

1. 八幡浜市権利擁護センター事業（八幡浜市より受託）
  - (一) 権利擁護に関する相談・利用支援
  - (二) 成年後見制度等に関する広報・普及
  - (三) 権利擁護に関する調査や関係機関との連携
  - (四) 市民後見人の育成・支援
  - (五) 法人後見事業の推進
2. 福祉サービス利用支援事業の推進（愛媛県社協より受託）
  - (一) 生活支援・相談活動の充実
  - (二) 生活福祉資金貸付制度の活用
  - (三) 小口貸付金事業の実施
  - (四) 「心配」と相談所による相談事業の推進と充実
3. 生活支援・相談活動の充実
  - (一) 生活福祉資金貸付制度の活用
  - (二) 小口貸付金事業の実施
  - (三) 「心配」と相談所による相談事業の推進と充実
4. 苦情解決機能の推進
6. 社会福祉関係機関・団体との連携強化
  - (一) 関係行政機関
  - (二) 民生児童委員協議会
  - (三) 各種福祉団体
  - (四) 福祉施設
  - (五) 各ボランティア団体
  - (六) 教育機関
  - (七) 社会福祉情報の収集・提供
  - (八) その他関係機関

### D. 在宅福祉サービスの推進

1. 介護保険事業
  - (一) 居宅介護支援事業及び介護予防支援サービス事業の推進
  - (二) 訪問介護事業及び介護予防訪問事業の推進
  - (三) 訪問入浴介護事業及び介護予防訪問入浴介護事業の推進
  - (四) 通所介護事業及び介護予防通所介護事業の推進
  - (五) 短期入所生活介護事業及び介護予防短期入所生活介護事業の推進
2. 障がい者福祉サービス事業
  - (一) 居宅介護事業
  - (二) 重度訪問介護事業
  - (三) 同行援護
3. 受託事業（八幡浜市）
  - (一) 介護予防教室通所事業
  - (二) 通所介護予防事業
  - (三) 生活管理指導員派遣事業
  - (四) 生活管理指導短期宿泊事業
  - (五) 障がい者福祉サービス事業
  - (六) 障がい者地域生活支援事業
  - (七) 難病患者等ホームヘルプサービス事業
4. 福祉用具貸し出し事業

### E. 施設サービス部門

- 養護老人ホームの管理・経営（湯島の里・あけぼの荘）
1. 入居者の処遇について
  2. 食の安全
  3. 職員の資質向上
  4. 社会（地域）貢献



# 平成25年度 八幡浜市社会福祉協議会の資金収支計算書 (予算)

【収入】 【支出】 (単位：千円)

勘定科目	当年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	勘定科目	当年度 予算額	前年度 予算額	比較増減
会費収入	7,000	7,000	0	人件費支出	310,508	318,842	△ 8,334
寄付金収入	2,000	2,000	0	事務費支出(一般管理支出)	26,019	26,885	△ 866
経常経費補助金収入	30,038	30,038	0	事業費支出(直接介護支出)	108,640	106,076	2,564
助成金収入	4,721	4,772	△ 51	貸付事業等支出	700	1,300	△ 600
受託金収入	21,459	16,301	5,158	助成金支出	11,680	11,680	0
事業収入	1,120	1,004	116	経理区分間繰入金支出	34,814	35,724	△ 910
貸付事業収入	700	1,300	△ 600	固定資産取得支出及び繰入支出	200	4,246	△ 4,046
共同募金配分金収入	11,486	11,864	△ 378	積立預金積立支出[積立預金支出]	2,644	2,644	0
介護保険収入	179,697	176,989	2,708	その他の支出	2,244	2,207	37
補助事業等収入	530	825	△ 295	予備費	1	1	0
自立支援費等収入	3,034	3,567	△ 533				
利用料収入	2,858	1,389	1,469				
措置費収入	190,399	192,771	△ 2,372				
雑収入	1,121	1,137	△ 16				
受取利息配当金収入	216	185	31				
経理区分間繰入金収入	34,814	35,724	△ 910				
合計	491,193	486,866	4,327	合計	497,450	509,605	△ 12,155

【前期末支払資金残高】 + 【収入合計】 - 【支出合計】 = 【当期末支払資金残高】

240,956 + 491,193 - 497,450 = 234,699 (千円)



楽しく健康づくり・生きがいづくり

## 介護予防の拠点へ

平成25年度より、八幡浜市若草デイサービス(保内町川之石 若草介護予防センター)を八幡浜市より委託を受け八幡浜市社協が実施しています。

介護保険に該当されない、おおむね65歳以上の高齢者等が、健康で生きがいをもって生活できるよう健康体操、レクリエーション等を実施します。送迎があり、利用者負担は1回350円です。食事・おやつ等は別に実費でいただいております。

現在、利用者は34名。週3日の運営です。月曜日は磯津・喜須来地区、水曜日は川之石地区、金曜日は宮内地区の住民の方に利用して頂いております。同敷地内には、子育て支援 エンゼル広場があり、高齢者とお子さんが楽しく交流する機会もあります。お問い合わせは、八幡浜市保健センター高齢者相談係(24-6626)まで。



## 平成25年度八幡浜市共同募金配分金助成事業 (前期)を募集します!

福祉の向上のために活動するボランティアグループ・NPO等先駆的、創造的な事業や在宅福祉・地域福祉を推進する活動を支援するため、「八幡浜市共同募金配分金助成事業」の募集を行います。この助成金は、市民の皆様から寄せられた善意の共同募金から助成されます。

■助成額 1事業3万円以内

■応募受付 平成25年4月29日(月) ~ 5月31日(金)

■審査方法 八幡浜市共同募金配分委員会において審査します。

■審査方法 助成申請書に必要事項を記入し、八幡浜市社会福祉協議会へ提出してください。

お問い合わせ先 23-2940



# 成年後見制度を学んで、 生き方・死に方を考えました

平成25年4月5日(金)11時20分〜12時、和田町公民館にて、成年後見制度の出前講座「成年後見制度を知りましょう」を行いました。(主催 老人クラブ 和楽会 約40名の和楽会の会員さんが、講師の社会福祉協議会(以下、社協)職員と自分が認知症になっ

たときの生活のしづらさを考えました。「火の始末がこわい」「遠くにいる子どもに迷惑かける」「歩き回って近所に迷惑かけるかも」「通帳がわからなくなる」「困ったことを困ったと相談できない」等の意見がありました。困りごとを解決する方法は…「認知症があっても自宅で生活したい」「認知症になる前に民生委員さんに相談しよう」「IHを使おう」「ヘルパーさんを利用しよう」

認知症になって、財産の管理や契約が難しくなったときの成年後見制度の利用について社協職員より紹介しました。

成年後見制度は「転ばぬ先の杖」です。成年後見制度を考えると、私たちはどう生き、どう死んでいくのかを考

えさせられます。自分が認知症になったときのことを考えてみてください。そして、大切なご家族や仲良しの友人と話合うことが、よりよく生きることにつながってきます。成年後見制度の出前講座については、八幡浜市社協地域福祉課(23-2940)まで。



質問と笑いがたえない講座でした

# 八幡浜市に権利擁護センターができました 誰もが自己実現を保障される

## 社会づくりを目指して

平成25年5月1日(水)八幡浜市社協に、「八幡浜市権利擁護センター」(八幡浜市より受託)を設置します。八幡浜市権利擁護センターは、認知症、知的障がい、精神障がい、他障がい等により判断能力が十分でない市民が、成年後見制度など権利擁護に関する制度を円滑に利用できるように支援を行い、権利を尊重し擁護することによって地域で安心して暮らせるよう、権利擁護事業の利用促進を図ることを目的としています。主な取組としては、後述の①〜⑦です。権利擁護に精通する社会福祉士等が相談業務を担当します。

平成25年6月15日(土)は市民後見人を研究・推進しておられます大阪立大学 教授 岩間伸之氏を講師として迎え、「平成25年度 権利擁護フォーラム」の開催を予定しております。詳細は、八幡浜市社協地域福祉課23-2940または八幡浜市社協ホームページまで。

- ① 権利擁護制度全般に関する相談及び利用支援
- ② 権利擁護制度に関する広報及び啓発
- ③ 権利擁護制度に関わる関係機関との連絡調整
- ④ 権利擁護に関する調査
- ⑤ 市民後見に関すること
- ⑥ 法人後見事業
- ⑦ 福祉サービス利用援助事業

### 「権利擁護」とは…

生命や財産を守り、権利が侵害された状態から救うということだけでなく、本人の生き方を尊重し、本人が自分の人生を歩めるようにするという本人の自己実現に向けた取組を保障するものである。

大阪市立大学

教授 岩間伸之 氏



# 広報紙をつくるコツ 読者の気持ちになること、楽しく つくること

平成25年3月12日(火)13時30分～15時30分、保健センターにて、広報紙作成研修会「広報紙づくりのコツをつかもう!」を開催しました。(八幡浜市社協主催、八幡浜市共同募金配分金事業)八幡浜市内の病院、施設、地区社協、ボランティア団体で広報紙を担当している方、これから広報紙を企画する方等28名の参加がありました。

株式会社 豊予社 菊池史行さんと伊井文男さんを講師に迎え、レイアウトの仕方や基本的ルール、記事の書き方やコツ、取材の大切さを学びました。「広報紙はまず読者に手にとってもらうことが大切。そして、担当者が楽しく広報づくりをすることが一番。それは読者に確実に伝わります」(菊池史行さん)

参加者からのアンケートでは「広報紙づくりの課程がよく理解できた」「新聞や広報紙を今までと違った角度から

読むことができそう」「記事の見出しの大切さがわかった」という感想がありました。今後も、八幡浜市社協では八幡浜市の福祉広報紙レベルアップに向け、広報紙作成研修会を企画していきます。



興味をひく記事の見出しを考え中

## 子育てサロンのご案内

子育てサロンはお母さん、お子さん同士が交流し、お友達をつくる場です。八幡浜市では12ヶ所の地区社協で子育てサロンを実施しています。ぜひ子育て中のお母さん、お子さんと一緒に参加してみたいかがでしょうか。主任児童委員さんやボランティアさんがお待ちしています。インターネットで八幡浜市内の子育てサロンの状況が確認できます。

のびのび.COM



お父さんの参加も歓迎します。

お問い合わせは

八幡浜市社協地域福祉課

(23-2940)まで



川之石 たんぼぼ



松蔭 まっかげランド



## 傾聴ボランティア養成講座募集

ふだんの生活の中であたり前にしていることから一歩進んで、耳と目と心で「聴く」ことの大切さを学びます。

- ◇時 間：火曜日 午前10時～12時
- ◇場 所：みなと交流館 会議室
- ◇講 師：シニア産業カウンセラー 田中節子 氏
- ◇参加費：無 料
- ◇定 員：20名程度

6/4	傾聴ってなんだろう！
6/11	ロールプレイング 聴き方練習
6/18	ロールプレイング 聴き方練習
6/25	ロールプレイング 聴き方練習
7/2	傾聴技法の統合 傾聴に求められるもの

## 点訳ボランティア養成講座(初級)募集

点字は視覚に障がいをもつ方にとって情報を得るための大切な文字です。点訳の技術を学び、自分のため、地域のために活かしませんか？

- ◇日 程：平成25年6月28日  
～8月30日 ※全10回
- ◇時 間：金曜日 午後7時～9時
- ◇場 所：八幡浜市保健福祉総合センター
- ◇講 師：点訳サークル 竹の子会  
宇都宮ツヤ子 氏
- ◇内 容：点字・点訳の基礎知識  
語の書き表し方  
分かち書き  
記号類の使い方  
書き方の形式 他
- ◇参加費：無 料
- ◇定 員：20名程度



## 手話奉仕員養成講座(入門)募集

名前や数字、指文字など、手話の素敵な世界を体験し活かせませんか？

- ◇講 師：岡野由季枝 氏、藤高清美 氏  
伊藤佳子 氏
- ◇内 容：名前を紹介しましょう  
旅行のことを話しましょう 他
- ◇参加費：無料。テキスト代は自己負担
- ◇定 員：八幡浜・保内コースとも20名程度

### (1) 八幡浜コース

- ◇日 程：平成25年6月25日  
～10月8日 ※全15回
- ◇時 間：火曜日 午後7時30分～9時
- ◇会 場：八幡浜市保健福祉総合センター

### (2) 保内コース

- ◇日 程：平成25年7月25日  
～11月14日 ※全15回
- ◇時 間：木曜日 午後7時30分～午後9時
- ◇会 場：保内保健福祉センター

## 朗読ボランティア養成講座(初級)募集

八幡浜市の広報誌などを音訳し、録音した「声の広報」を視覚に障がいをもつ方に提供します。活字を音声で伝える温もりのある活動を広げませんか？

- ◇日 程：平成25年6月4日  
～8月6日 ※全10回
- ◇時 間：火曜日、午後6時30分～8時30分
- ◇場 所：八幡浜市保健福祉総合センター
- ◇講 師：音訳指導員 岩田和子 氏
- ◇内 容：音声訳とは  
アクセント  
聞き手に配慮した読み方  
録音機器の使い方  
朗読練習  
広報録音について  
朗読ボランティアとの交流会 他
- ◇参加費：無 料
- ◇定 員：20名程度

### 【お願い】

日時・内容を変更する場合があります。詳細は下記あるいは八幡浜市社協ホームページにてご確認をお願いします。

### 【お問い合わせ・お申込み先】

八幡浜市社会福祉協議 保内支所

電話：0894-36-0262 F A X：0894-36-1173